



令和6年4月1日

三陸鉄道は開業40周年を迎えます

三陸鉄道は、昭和59年（1984年）4月1日の開業から40周年という節目を迎えます。開業当時から通勤・通学や買い物の足、観光客の移動手段として日々、沿岸地域をつないでいます。今後とも三陸鉄道の利用をよろしくお願いいたします。

三陸鉄道の歩み

三陸鉄道開業

昭和59年

三陸鉄道は昭和59年4月1日、南リアス線と北リアス線を持つ鉄道会社として開業しました。開業初日は全国から1万人を超えるお客様に乗りいただきました。



北リアス線出発式の様子

東日本大震災

平成23年

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により線路や橋、駅舎などが流失しました。

国内外からの支援により復旧工事が進められ、平成26年4月に全線運行再開を果たしました。



被災した旧島越駅の様子

リアス線の誕生と台風19号災害

令和元年

平成31年3月23日、全国の第三セクター鉄道の中で最も長い全長163キロの路線「リアス線」が誕生しました。全国から毎月約10万人のお客様が訪れ、沿線は活気に満ちあふれていました。

しかし、同年10月に発生した台風19号の影響により、三陸鉄道は再び大きな被害を受けました。

この際も多くの支援により、翌年3月には全線で運行を再開しました。



リアス線開通記念列車出発式の様子

開業40周年とこれから

これから

三陸鉄道は皆様からの支援により、4月1日に開業40周年を迎えます。利用者の減少や物価高騰などにより厳しい状況が続いていますが「沿線住民の日常の足」「地域振興への貢献」という役割を果たすため、今後も安全安心な輸送を心がけます。

また、開業40周年を記念して、4月から令和7年3月まで、さまざまな

事業を行います。ホームページ（下記QRコード）で順次紹介しますので、ぜひご確認ください。



要チェック



さんてつくん

《開業40周年記念グッズのご紹介》

三陸鉄道直営店「さんてつや」では県内外の企業と協力して、40周年記念グッズを販売しています。

三鉄車両型パンケース



三鉄アイス





第15回みやこ郷土芸能祭

郷土芸能の魅力味わう

3月3日、市民文化会館大ホールで同郷土芸能祭が開催され、約200人が来場しました。

市内から「法の脇獅子舞」「田代大念仏剣舞」「津軽石さんさ踊り」が、特別ゲストとして石巻市から「雄勝法印神楽」が参加。各団体の華麗な舞に、観客からは惜しみない拍手が送られました。

関口愛さん（17、花輪）は「自分も郷土芸能をやっている。出演団体はリズム感があり、音の取り方もうまかった。今回学んだことをこれからの活動に生かしたい」と力強く話しました。



みやこテクノフェスタ2024

地域のモノづくり企業が集結

2月23日、市民交流センターと宮古市役所前駐車場で「みやこテクノフェスタ2024」が行われ、約800人が来場しました。

当日は、コネクターや金型を製造する企業など14団体が参加。ものづくり体験や、実際の製品・製造に使う機材などが展示がされました。

稲吉功真くん（磯鶏小4年）は「電池で動く車を作ったり、コネクターの組み立てを体験した。コネクターを完成させることができてうれしかった」と笑顔を見せました。



第22回宮古毛ガニまつり

冬の味覚をおあげんせ！

3月3日、宮古市魚市場で「第22回宮古毛ガニまつり」が開催され、約5,700人が訪れました。

会場にはおよそ30のブースが出店。毛ガニの販売のほか、毛ガニ汁や毛ガニラーメン、蒸しがき、瓶ドンなどが並び、来場者は宮古の毛ガニグルメや旬の海の幸などに舌鼓を打っていました。

佐藤叶希ちゃん（6、紫波町）と父の大樹さん（45）は「毛ガニ汁は体が芯から温まって最高です」と大満足の様子でした。



宮古毛ガニまつりイベント
IN浄土ヶ浜

浄土ヶ浜で毛ガニを堪能！

2月25日、浄土ヶ浜レストハウス前で開催された同イベントには、約1,800人が来場しました。

毛ガニの販売はもちろん、その場で味わえる毛ガニ汁や海鮮串焼きは大盛況！毛ガニをゲットできるイベント限定の射的や輪投げのブースにも長蛇の列ができました。

人気企画の毛ガニの一本釣りでは、制限時間1分間に4杯も釣り上げる人がいるなど、参加者が毛ガニを釣り上げるたびに拍手が起き、大きな盛り上がりを見せました。